

花王のアプローチ

従業員が安心して働くことができる職場環境を整備するため、労働安全衛生活動に関する基本的事項を定めています。また、従業員の安全・健康を確保する活動を行なっています。

社会的課題と花王が提供する価値

労働災害防止や健康増進が叫ばれている中で、花王では、花王レスポンシブル・ケア(RC)方針に「労働安全衛生」の活動方針を定め、作業・機械・化学物質のリスクアセスメント活動、健康診断の確実な実施とフォロー、メンタルヘルス対策に注力して活動し、従業員の安全・健康の確保に努めます。

貢献するSDGs



方針

花王は「労働安全衛生」の活動方針を、花王レスポンシブル・ケア(RC)方針にて「労働災害の撲滅、潜在的危険性の低減を図るとともに、快適な職場環境の形成と従業員の健康増進に努める」と明確に定めています。事業活動に伴う事故や災害から社員を守り、安全で安定した操業を維持するため、事故・災害の発生状況や原因

を把握・分析し、分析内容はグループ全体で共有し、再発防止につなげています。



→花王レスポンシブル・ケア方針
<http://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/environment/statement-policy/policy/responsible-care.html>

体制

花王レスポンシブル・ケア方針および推進体制や活動については、下記のページに掲載しています。



→P184「ガバナンス>レスポンシブル・ケア活動」

教育と浸透

各事業場で社員・派遣社員を対象に労働安全衛生に関する教育計画を立て、実施しています。入社時・配転時の配転先での安全衛生教育は必ず行なっています。また、特別教育の必要な業務をリストアップし、必要な教育を実施しています。

教育を行なうことで、職場での安全衛生に関する情報を共有し、安全衛生の目標に向けて活動することができています。

さらに毎年、社長からの安全メッセージと安全ポスターを発行し、安全意識の向上を図っています。



→P171「コーポレート・カルチャー>保安防災/教育と浸透」

ステークホルダーとの協働

生産・研究の事業場や物流拠点では、協力会社の社員の安全も確保するため、協力会社とともに安全や防災行事を行なっています。また、毎月、協力会社との間で、花王グループ内の労働災害事故事例とその対策などの安全に関する情報を共有し、協働で安全活動を推進しています。

また、花王ロジスティクス部門でも毎月、拠点の配送委託会社との間で安全・品質の会議を開催しています。さらに、毎年全国の配送委託会社が参加する情報交換会を開催し、交通事故撲滅活動にご協力いただいています。

中長期目標と実績

主な目標

花王は2020年にグローバルでトップレベルの安全衛生を満す企業になることをめざしています。

社員、協力会社共に、死亡・機能損失災害「ゼロ人」、休業度数率「0.10以下」、業務上交通事故については、過失100%人身事故件数「ゼロ件」を2020年目標としています。

2017年の目標と実績

「労働災害の撲滅」「快適な職場環境の形成と従業員の健康増進」の2つの視点から活動を推進しました。

具体的には「労働災害の撲滅」として、既存設備に対する作業・機械のリスクアセスメントの推進、ヒヤリハット提案による改善の推進、新設設備の稼動前リスクアセスメントと安全検収、設備安全対策とルールの周知・遵守による設備災害の防止、階段などでの転倒転落

防止、業務上の交通事故の防止などに注力しました。

「快適な職場環境の形成と従業員の健康増進」としては、作業環境管理強化、健康診断の確実な実施とフォロー、健康促進の活動、ストレスチェック、化学物質のリスクアセスメントを推進しました。

また、各事業場で定期的に行なう安全衛生委員会で、活動の予定や実績を報告し、従業員に周知しています。

2017年 目標と実績(花王グループ)

項目	指標	対象	2015年	2016年	2017年		
			実績	実績	目標	実績	
労働災害	死亡、機能損失災害※1 (人)	社員 + 派遣社員(花王グループ)	0	0	ゼロ	1	
		内訳	日本	0	0	—	1
			アジア	0	0	—	0
			米州	0	0	—	0
			欧州	0	0	—	0
		協力会社(花王グループ)		0	0	ゼロ	0
		内訳	日本	0	0	—	0
			アジア	0	0	—	0
			米州	0	0	—	0
			欧州	0	0	—	0
	休業度数率※2	社員 + 派遣社員(花王グループ) <input checked="" type="checkbox"/>		0.61	0.67	0.26以下	0.55
		内訳	日本	0.30	0.47	—	0.36
			アジア	1.10	0.31	—	0.34
			米州	3.61	3.20	—	3.57
			欧州	2.53	4.12	—	2.79
		参考:日本化学工業協会加盟会社 社員 + 派遣社員		0.29	0.35	—	—
協力会社(花王グループ) <input checked="" type="checkbox"/>		0.82	0.56	0.26以下	0.41		
内訳		日本	0.40	0.65	—	0.55	
	アジア	1.12	0.13	—	0.10		
	米州	0.00	0.00	—	0.00		
	欧州	4.30	5.81	—	4.21		
参考:日本化学工業協会加盟会社 協力会社		0.50	0.54	—	—		

※1 機能損失災害: 負傷が治った時に障がい(障害等級5級以上)が残る災害

※2 休業度数率: 100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)

2017年 目標と実績(花王グループ)

項目	指標	対象	2015年	2016年	2017年		
			実績	実績	目標	実績	
労働災害	全災害度数率※3	社員+派遣社員(花王グループ)		2.03	1.96	1.34以下	1.87
		内訳	日本	1.63	1.93	—	1.70
			アジア	1.69	0.80	—	1.02
			米州	7.23	4.79	—	5.95
			欧州	7.59	6.33	—	6.15
		協力会社(花王グループ)		2.18	1.32	0.81以下	1.18
		内訳	日本	2.09	1.49	—	1.18
			アジア	2.23	0.77	—	0.71
			米州	0.00	0.00	—	0.00
			欧州	4.30	7.75	—	12.62
	強度率※4	社員+派遣社員(花王グループ)		0.01	0.02	—	0.10
		内訳	日本	0.01	0.01	—	0.13
			アジア	0.02	0.01	—	0.01
			米州	0.09	0.10	—	0.08
			欧州	0.02	0.06	—	0.04
		参考:日本化学工業協会加盟会社 社員+派遣社員		0.01	0.01	—	—
		協力会社(花王グループ)		0.01	0.03	—	0.01
		内訳	日本	0.01	0.05	—	0.02
アジア			0.01	0.01	—	0.00	
米州			0.00	0.00	—	0.00	
欧州	0.10		0.05	—	0.06		
参考:日本化学工業協会加盟会社 協力会社		0.14	0.10	—	—		
交通事故	過失100%人身事故(件)	販売・配送(日本)	14	24	0件	11	
	過失0%以外百台率※5		7.75	7.10	5.5以下	7.64	

※3 全災害度数率:100万のべ実労働時間当たりの労働災害によるすべての被災者数(不休業災害を含む)

※4 強度率:損失日数/のべ実労働時間×1000

※5 過失0%以外百台率:過失0%以外の交通事故件数(件)/保有車両台数(台)×100

2018年の目標

2018年の目標は、花王グループの目標のみとし、事故・災害の発生防止に努めます。なお、交通事故のうち過失0%以外百台率についての目標は海外の状況を確認後、設定します。

2018年の目標(花王グループ)

項目	対象	指標	2018年目標
労働災害	社員・派遣社員	死亡、機能損失災害※1(人)	ゼロ
		休業度数率※2	0.20以下
		全災害度数率※3	1.08以下
	協力会社社員	死亡、機能損失災害※1(人)	ゼロ
		休業度数率※2	0.20以下
交通事故	販売・配送	過失100%人身事故(件)	ゼロ
		過失0%以外百台率※4	—

※1 機能損失災害: 負傷が治った時に障がい(障害等級5級以上)が残る災害

※2 休業度数率: 100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)

※3 全災害度数率: 100万のべ実労働時間当たりの労働災害によるすべての被災者数(不休業災害を含む)

※4 過失0%以外百台率: 過失0%以外の交通事故件数(件)/保有車両台数(台)×100

具体的な取り組み

労働災害発生状況

2017年の社員・派遣社員および協力会社の労働災害による死亡が1人(派遣社員)発生しました。

生産工場での原料受入作業時、運転手と作業者との連絡・確認不足によるトレーラーの車輪への巻き込まれによる事故です。このような重篤災害の再発を防ぐため、作業および作業マニュアルの見直しと教育および管理者の現場パトロール強化を実施しました。

社員・派遣社員の労働災害による被災者数は160人で、そのうち休業被災者数は47人(死亡1名含む)でした。

災害の主な要因は、不注意や確認不足による「転倒・転落」53人、次いで「切れこすれ」によるものが20人、「動作反動」によるものが19人でした。「転倒・転落」災害が最も多いことから、転倒・転落災害の対策を中心に、活動を推進していきます。

協力会社社員の労働災害による被災者数は26人で、そのうち休業被災者数は9人でした。

化学物質のリスクアセスメント

花王の生産工場では多くの種類の化学物質を取り扱っていることから、自然環境汚染リスクはゼロではありません。そこで、既存設備が人や環境に及ぼす影響評価を完了し、リスク低減のための措置を行なっています。また、設備を増改築する際、事前に人や環境に及ぼす影響を評価しています。

国内では、2017年に労働安全衛生法に追加された27物質のリスクアセスメントを実施しました。なお、これらはSAICMプロジェクトにて対応しています。

休業無災害表彰制度による安全意識の向上

2016年に休業無災害表彰制度を、さらなる安全意識向上を図るために海外の工場まで対象を拡大しました。

2017年は、国内3工場と海外2工場が表彰されました。

休業無災害表彰(2017年)

地域	社名・工場名	ステージ
日本	花王(株)富士工場	ステージ2(5年)
	花王(株)和歌山工場	ステージ2(540万時間)
	花王(株)栃木工場	ステージ5(15年)
中国	花王(合肥)	ステージ2(5年)
	上海花王	ステージ1(3年)

表彰基準

ステージ	表彰基準
1	3年
2	5年もしくは540万時間
3	7年もしくは810万時間
4	10年もしくは1,220万時間
5	15年もしくは1,830万時間
6	25年もしくは3,000万時間



休業無災害表彰記念トロフィー



(左) 栃木工場のステージ5達成の表彰式
(右) 中国:花王(合肥)のステージ2達成の表彰式

労働安全衛生

従業員の快適な職場環境

すべての職場を快適な職場環境にするよう努めるとともに、各国の作業環境基準を遵守するため、定期的に作業環境を測定し、職場環境の改善・維持管理を行なっています。

グローバルで安全スローガンを共有

グローバルでの安全意識の向上を目的に、2017年は日本語の安全ポスター標語を、海外拠点の協力で11の現地語に翻訳。社長が登場する安全ポスターを国内・海外拠点に展開し、グローバルで安全スローガンを共有しました。



社長が登場する安全ポスターを11カ国語で展開(左から日本語、英語、タイ語、中国語(簡体字))

Topic 栃木工場が厚生労働省から無災害記録証第5種を授与

栃木工場は、死亡災害および休業1日以上は無災害記録のべ1,520万時間(2002年9月1日～2017年6月28日)を達成し、2017年10月19日、厚生労働省から無災害記録証第5種が授与されました。

栃木工場では安全衛生委員会の下部組織として安全衛生推進連絡会を設け、複数グループで活動を推進し、社員だけでなく派遣社員等を含めて工場一体となり、全員参加で安全衛生活動に取り組んでいます。主な活動は①安全提案・ヒヤリハット等の提案制度と安全ルール遵守風土づくり②作業・機械設備の観点から実施しているリスクアセスメントの推進③非常常作業前に実施する準備や作業内容などの事前チェックシートの活用④全員を対象とする3年サイクルの安全教育や新人、配転者を対象とした災害ビデオによる安全教育等の4つで、約15年の間、安全衛生活動に取り組んだ結果です。

今後も、事故・災害ゼロの安全衛生活動を継続し、無災害25年をめざします。



栃木工場の無災害記録証第5種